

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスレインボー（単位2）児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2025年1月24日 ～ 2025年2月10日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	5名
○従業者評価実施期間	2025年1月24日 ～ 2025年1月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月12日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子供が楽しめる多種多様な体験の提供。 SST、スポーツレク、ヨガ、ゲーム、脳トレ、遠足、社会科見学、公園遊び、工作、ボーリング大会、乗馬体験、段ボール工作、お買い物学習、ボルダリング、駄菓子屋さん、クッキング、お誕生会、釣り体験、外食体験、実験、避難訓練、ミニ四駆、お習字、生き物図鑑、お仕事図鑑、バーチャル旅行、偉人伝説、こどもブックワールドタイムトラベル、大型絵本、感覚遊び、音楽遊び、児童館、図書館、ネットの使い方、アイロンビーズ、新年の鑑い、書初め、伝統遊び、節分、バレンタイン、ひなまつり、メッセージカード作り、七夕、夏祭り、流しそらめん、虫取り、かき氷作り、水遊び、BBQ、ハロウィン、年賀状作り、クリスマス会、年越しそば、子ども忘年会等	子ども達にどのような活動をやりたいか聞いたり、保護者から提案をもらっています。職員同士で活動プログラムについて話し合い、こどもの年齢や発達段階、特性を考慮しつつ、楽しくかつ学びの要素を含んだものになるよう、また様々な体験の中から社会性を学ぶことができるよう意識しています。	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民との交流	時間の兼ね合いで、平日に公共施設を利用することが難しい。また、個人情報の兼ね合いもあり交流が持ちづらい	可能な限り公共施設を利用し、地域の方との交流を増やしていく。
2			
3			